

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまひな		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 15日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 15日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	・主に長期休暇時や学休日にお出かけやお買い物などの活動を取り入れ、公共でのマナーを知ったりお金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	・現在は職員が考えるプログラムに取り組んでもらう形が多いため、今後は子どもたちが主体的に活動を考え取り組めるような機会をつくっていききたいと思います。
2	・公式LINEやInstagramなどで細かく情報発信をしている。	・子どもたちがどんな活動をしているのかを、保護者だけでなく、外部の人たちへも発信することで、新規利用児童の拡充を図っている。	・定期的に事業所での活動を公開していきながら、いろいろな人に向けた情報を発信していきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練など事業所内での取り組みは保護者への周知が難しい。	・避難訓練の実施日が事前に伝えられておらず、子どもたちの心の準備ができていない。	・安全計画により防災月間を定め、事前に避難訓練のお知らせを行っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス まひな

公表日 2025年4月1日

利用児童数 16名（うちきょうだい2組）

回収数 10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2			・広々としている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1			・わかりやすい空間になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				・作りをうまく利用し、いろいろな活動をしている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2			・好きなもの等理解し、できることを褒めてくれている。 ・意思疎通できていない場面があると聞きます。受け止めてもらえないという不足感があるようです。先生と密にコミュニケーションをとる時間がほしいようです。	・子どもたちと個別で関わる時間を増やしていき、もっとコミュニケーションをとりやすい環境を目指していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1		1	・モニタリングをし、こどもに合った計画をたててくれている。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				・いろいろなことを経験させてもらっている。 ・日々の活動についていろいろと考えてくれていると思う。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	1	3	・主に行われる土曜日に利用はしていないため。 ・図書館などでも交流があると思う。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				・説明していただいている。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9		1		・相談し、計画を立て丁寧に説明してくれた。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	2	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7	2		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1		1	・モニタリングで話をしている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	1	5	・バザーがあり参加した。 ・きょうだいへの支援はわからない。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9		1		・帰宅時に様子や活動内容を教えてくださる先生がいる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			2	・体調不良時にはすぐに連絡をくれる。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				・先生たちにも心を開き、楽しく通っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1			・楽しかった話を本人からよく聞きます。 ・行きたくないという時もあるけど、自分の居場所はこちらだと思っているようで、行けば「楽しかった」という。 ・心の居所になっている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			1	・満足です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス まひな				公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に応じて、こどもたちが利用するスペースを分けています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・必要に応じて、職員の数を調整し、人数を増やして対応しています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・こどもたちが視覚的に行動できるよう配慮しています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃、消毒などを徹底しています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	・部屋の隅にくつろぎスペースは用意しています。	・こどもが自由に使っていい部屋がないため、必要があれば自分のスペースを確保できるようパーティションなどで区切って環境を整えます。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・なるべく職員が全員いる時に周知させ、徹底しています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートなどの評価から職員全員で振り返る機会を設けています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・適宜ミーティングをし、情報共有を図っています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				・現在第三者などによる評価は行っていないため、今後考えていきます。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部への研修や法人内研修を適宜行っています。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・公式LINEやホームページ等で公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・こどもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画は職員に共有されており、当日こどもたちが来所する前にミーティングなどで 1 日の活動予定も職員間で共有しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者の方にはアプリを用いた日々の記録を提示し、職員間では適宜こどもたちの様子を把握するための会議を開いて確認しています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・定期的にアセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作り上げるようにしています。				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・こどもの特性や状況に応じて、皆にとって有益になるようなプログラムを提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・子どもたちが来所する前に、その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を把握できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎終了後に職員で保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・職員間で共有したことを基に、利用者個人の支援記録を毎日作成しモニタリング等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度のモニタリングを実施し、見直しを行っています。保護者に対しては面談を通して学校や他事業所での様子を共有しながら、利用児の把握に努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		・ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・日々の療育プログラムに加え、自由な時間にこどもたちのやりたいことを聞き、なるべくこどもたちの意思を尊重した活動を取り入れています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・必ずこどもたちの様子を知る職員が会議に参加してスムーズに情報共有ができるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え連携の体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・行事予定や下校時刻、送迎時の対応などは主に保護者の方と情報を共有させていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・就学前の施設との情報共有は現時点ではありませんが、他の放デイと並行通所している場合にはサービス担当者会議などで情報共有を図っています。	・今後必要に応じて対応していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・現時点では対象者がいませんが、今後対象者の方が出てきた場合はこれまでの支援内容等に情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				・今後必要があれば検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・長期休暇や学休日などに、同法人の他事業所と交流する機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・現状あまり参加できていませんが、参加できるよう環境を整えていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・アプリ内の連絡帳にて日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・現在特に必要なご家庭から支援をしているため、まだ全体に広まっていないものの、少しずつ支援が広がっていくように随時LINEや電話などで呼びかけていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等あればその場で答えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて面談だけではなく、電話やLINE等でも相談を受け付けており、支援方法などを提案しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		・父母の会や保護者同士の交流する機会は設けたことがないため、今後必要であれば検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。 ・重要事項説明書に第三者窓口についても記載しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・主にLINEを使用し、行事予定や活動概要を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報に記載されている書類等はすべて鍵付きの書庫に保管しています。 ・廃棄書類等はゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・状況に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・今後保護者からの要望があれば、検討をしていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・各マニュアルは策定しているものの、定期的な訓練までに至っていないため、改善して周知し、訓練していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・薬等の必要な子どもの保護者より、状況を共有し確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・現在、対象となる利用者はおりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案が起こった際ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に務めます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を事業所内で設立し、職員間で虐待にあたる事項など周知、徹底しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しています。	